

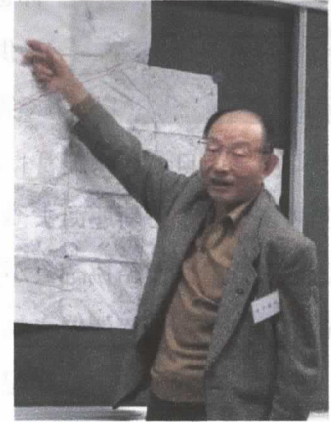


第 30 回（平成 20 年 10 月 8 日）定例会の研究発表要旨

札樽バイパス建設秘話

手稲郷土史研究会会員 澤本 富延 氏

札樽バイパス建設反対闘争を中心に、普段は聞くことの出来ない正に秘密の話
を大変楽しく聴かせていただきました。詳細は、ご提供頂いたレジメおよび安田
雄児氏編集の資料を見ることとしまして、そこには記されていない挿話部分を簡
条書きにて紹介させていただきます。



- ・ 安田氏は、囲碁仲間のつてを通して知った方で、その安田氏が執筆した「手稲の歴史」（膨大な取材をもとにまとめられた）の中から、この講演のための資料として「札樽自動車道と富丘ルート変更闘争」を提供していただいた。
- ・ 昨日、電電公社の OB スキー仲間が 15 人集まってニセコへ行ってきたが、その途中、バイパスを通ったときに車窓から光風荘が見えた。翌日の講演のことが閃き、「偶然の一致」に感動した一瞬であった。
- ・ 地元住民の意思を中央に伝えてくれた島本社会党衆議院議員は私の兄貴分にあたる人で、島本さんは小樽の郵便局、私は富良野の郵便局で、全通という労働組合の立ち上げに共に運動した仲間である。
- ・ 昭和 45 年 1 月 17 日、日本道路公団作業員が道警機動隊をバックアップに強制調査が行われたときには新日本婦人の会や地域の婦人らがハンドマイクを持って抗議をしたのであるが、その際は機動隊の銃器をちらつかされ、その陰悪な異様な状況は表現しづらいものがあるが、みなさんで想像していただきたい。
- ・ 結果的にはバイパス道路として買収されることにはなったが、みんなの応援で、地権者は代替地を得て移転することができた。しかし、一般人たちには「ゴネ得をねらった闘争」と見られ、またマスコミにもそのように報道されたのは残念である。
- ・ 私の中ではこの運動は安保闘争との結びつきもあった。当時、戦後最大の民衆運動と言われ、全国規模で運動が行われていた。その最中^{きなか}にあつて、このバイパス道路建設の目的はアメリカのための軍用道路であると喧伝^{けんてん}されたのである。すなわち、アメリカの軍用機が通るには、当時の札樽道路では耐えられないから、軍用道路を目的に新道路を計画していると噂された。
- ・ 私がこの運動に関わるようになった切っ掛けは、電済労の委員長をしていた関係で、札樽バイパス協議会会長今野譲氏らに、活動支援を要請されたことである。
- ・ 国会議員（共産党）の松本善明氏らが北家（光風荘）で一泊して密かに対策を練っていた。
- ・ このバイパス反対闘争運動に参加していた手稲出身の画家の大月源二氏は、小林多喜二の小説の「蟹工船」の挿絵を描いた人である。東京から疎開して手稲に住んでいたころ、今の手稲小学校の横に位置するところに、レンガのモダンな住宅を建て、そこに住んでいた。（その建物は今はなく市民住宅に変わっていると思われる。）60 年安保闘争と一緒に参加したことが縁で、絵に興味を持つようになった。大月氏の画風の特徴としては、風景画の中に必ず人物が入っていて、描かれた静物・人物には動きを感じる。電電公社の社内報に載った絵（駅員がポイント返す作業をしている）の原画を宝物として今も大切に保存している。

〔文責：小田〕

会員募集中

当会は、毎月第 2 水曜日の例会で、会員の研究発表と外部講師を招いての講演会を行い、研修をしております。

ただいま、会員を募集しております、入会希望される方は、事務局の鈴木清士（Tel. 682・9347）までご連絡下さい。

山口運河まつり誕生エピソード

手稲郷土史研究会副会長 伊澤 敏幸 氏



「運河まつり煎餅」を食べながら、私の話を聞いてください。

先月加藤会員から、学術的な話がなされましたので、今回はよもやま話をいたします。

平成2年にそれまで明星公園で行われていた七夕祭りを「運河まつり」と名称を変えて行われました。旧運河にポンプで水を汲み上げて溜め、舟を浮かべ、子供たちを遊ばせたのが起源です。次の年には「山口運河まつり」という名前で実施されました。

この「山口運河まつり」という名称で実施されたのを旧運河まつり、平成9年に発足した「手稲山口運河まつり」を新運河まつりとします。新運河まつりは、星置地区センターが設置されたのを機に、地区連合町内会連絡協議会が発足しましたので、地区連協主催の行事として「手稲山口運河まつり」が星置中学校予定地で開催されました。それを運河まつりの第1回としたわけです。

（現在までの経過は、配布資料を参照）

ここで、自慢したいことの一つは、この12回までに、一度も雨が降ったことが無いということです。

（ここで「山口音頭」紹介）

（行事内容については、配布資料を参照）

行事として、私たちの年代の者にとっては、「灯

鉾山部会の例会予定

鉾山部会の例会予定は次のとおりです。

11月21日（金）

12月15日（月）

会場は、手稲区民センター2階 第3会議室



星置のキャラクター、すたっちです。
2007年7月7日生まれ、星座のO型。
お父さんは源三郎、お母さんは織り姫です。
名前は星（スター）と星（ち）からつけてもらいました。
天の川で遊樂をつかい、星置公園、バックホウの遊び場。
星置の子どもたちや、山口運河のマガモ、星置緑地
のエリオンショウワオがお友だち。
これからもよろしくお願ひします。

籠流し」が人気行事なのですが、運営上困難なことがあるために中断しています。これをどうにかして復活させたいというのが課題の一つです。

新企画として、演歌歌手「篠路けいこ」、日ハムのマスコット・キャラクター「BBちゃん」を呼んでの催し物を考えているところです。

（「星置地区まちづくり委員会設立について」「今年の『手稲山口運河まつり』について」は、配布資料を参照）

（最後に、「FM小樽」で9月4日に放送されたPR番組を紹介）

【文責：小田】

次回の予定

次回（12月10日）は、開拓の村事業課長・中島宏一氏の講演「開拓期における洋風文化の導入 — 馬車鉄道の建設とその遺構」と視察研修（9月13日）および鉾山博物館見学（9月26日）の報告（スライドによる）を予定しています。